



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 進路指導部
Vol.1 令和6年5月27日

5月1日（水）に、「医療専攻開講式」「医療講演会」が行われ、本格的に今年度の「医療専攻」の活動がスタートしました。今年度の2年生医療専攻選択者は32名です。協力していただく医療機関や医療従事者の皆様への感謝を忘れず、目的意識をもって実りの多い一年にしましょう。

医療専攻開講式

魚沼市立小出病院 院長 布施 克也様のご臨席のもと、医療専攻開講式を行いました。開講式は、南方校長の激励の言葉から始まりました。医療専攻が設置された背景などの話がありました。生徒たちは南方校長の言葉を受け、医療専攻の意義を再確認し、今後の活動に向けて決意を新たにしていました。

医療講演会 テーマ「医療人を目指す皆さんへ」 魚沼市立小出病院 院長 布施 克也 様



「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」講演会はこの憲法25条・生存権からはじまりました。

「医療者はいかなる場面においても、生命・人格・尊厳が守られることを判断および行動の基本とし、自己決定を尊重し、そのための情報提供と決定の機会の保障に努めるとともに、つねに温かな人間的配慮を持って対応する。」「生活の場にいる地元の人間が専門技術を身に付け、困っている人を支えなければなりません。」「医療は体、命、心に触れる職業であるため高い倫理意識が必要であり、上級学校でも最初にこの話をする。」という言葉は布施先生からいただきました。医療を職業として選ぶことの意義や、高い倫理意識を考えさせていただきました。

医療者の想いとして15の「医療者の倫理綱領」をお話していただきました。紹介します。

- 1 医療者は生命・尊厳・権利を尊重する**－医療の人間は、患者さんの心に刺さった「串」を取り除きたいと願う人たちである。命の最期を迎えつつある患者さんにできることは、そばにいて、最期まで「存在」を肯定し続けること。
- 2 医療者は差別しない**－人の命の重さには差がない。「どちらの生命のほう危機にさらされているか」が医療の判断基準。また、能登半島地震では小出病院から5人のスタッフが現地の医療活動に参加。
- 3 医療は信頼に応える**－医療人は「信頼されている」という強い責任感のもと行動する。
- 4 医療者は自己決定権を尊重する**－医療人は、患者さんの判断や選択が、その人にとって最良のものとなるように支援する。自分勝手な思いで決めない。その人の人生を支える。
- 5 医療者は秘密を守る**－医療者が最も大切にする価値は「信頼」。それを裏切らない。守秘義務の徹底。
- 6 医療者は患者の安全を守る**－医療者は患者さんの生命や尊厳が脅かされないよう、正義の味方となって行動する。患者を全力で、絶対に守る。
- 7 医療者は法的責任の下で活動する**－医療者が実践する業務は法的に規定されており、逸脱してはならない。

8 医療者は学び続ける－専門職としての研鑽に励み、日進月歩の技術を現場で活用するため、常に学び続けなければならない。

9 医療者は協働する－医療者は協働する他専門職と対等な関係で、連携し、**One Team**を作りあげる。

10 医療者は自律する－医療者は権威におもねることはない。自律性（オートノミー）を持っている。

11 医療者は研究する－医療人は現場で得た知識や技術を発信し、評価をもらう。一人ひとりが研究者である。

12 医療人は自身の健康を守る－他人のために働くためには、自分自身の心と身体が健康でなければならない。自分の健康を守ることは医療者の義務である。

13 医療人はスマートな社会人になる－医療者は信頼されるよう、個人の品行を高く維持する。

14 医療人は安全な環境づくりを目指す－医療人は人々の健康を保持増進し、疾病を予防する責任を担う。

15 医療人は社会づくりに貢献する－医療人は社会全体の安心と安全を願う。

夏休みには「サマーセミナー」が実施されます。布施先生からは「小出病院ではさまざまな専門職をもつ医療者がいるが、仕事はなにをやっているのかだけではなく、お互いどうやって協力しているのか。ここに注目してほしい。協力するためには、お互いに敬意を持たなければできない。関係は even である。」とチーム医療としての心構えも教えていただきました。サマーセミナーでは、この点に注目して現場を見てきてほしいです。

質疑応答

○今できる安全な環境作りは何ですか？

SDG s の3番目。たばこの毒性を減らせるか、取り除く必要がある。そのためにたばこの害を知識として助言し、たばこを吸わない地域社会をつくる必要性があります。

○忙しいときに医療関係者はメンタルをどのように保ちますか？

よく食べ、よく寝て、仲間と愚痴をいう。内向きでは心がもたない。同僚は同じストレスを抱えているのでお互いに愚痴を言い合える仲間づくりも必要です。

○患者に対しての守秘義務をどのように実践していけばよいですか？

倫理的に医療関係者全員で確認します。また、看護学校でも守秘義務の重要性を習い、徹底されます。現場においては先輩看護師が徹底して守秘義務を教え、倫理観を植え付けていきます。

生徒の感想

- ・医療者は患者さんから信頼されているということがモチベーションになっているそうなので私も普段の行動を見直し信頼される人になりたいと思いました
- ・今回の講演で患者さんとの信頼関係は頼られ、応えることで育つとお聞きした。将来リハビリ系の仕事に就きたいので、コミュニケーション能力を育て、信頼関係をつくり、頼られる医療従事者になりたい。
- ・中越地震時、他の地域から助けが来て、先日の地震では石川へと助けに向かわれたと聞き、一人でも多く助けようとする皆の意識がとてもすばらしいと思った。
- ・布施先生のお話を聞いて、改めて、医療は患者さんのために様々な角度からサポートする素敵な職業だと感じました。特に印象に残っているのが、Not doing but being です。どれだけ頑張っても助からない命があるけれど、そばにいて支えるという意味だと聞いて、一人一人の患者さんと向き合い、支えている医療者がいることを感じました。これから始まる医療専攻を頑張りたいと強く思いました。

